

## 目次

I	研究の概要	1
1	研究課題名	
2	研究のねらい	
3	研究の目標	
4	研究組織	
(1)	S P H研究担当者	
(2)	S P H研究推進委員会	
(3)	S P H運営指導委員会	
(4)	校内体制図	
5	本年度の実施計画	4
(1)	港湾内の航路を確保するための水中ロボット（ROV）開発（海洋科 機関コース）	
(2)	臨時災害放送局開設に向けた取組（情報通信科）	
(3)	地元の食材を生かした備蓄可能な製品の開発（食品工学科）	
(4)	防災かまどベンチで調理可能な非常食レシピの開発（食品工学科）	
(5)	藻場への新たなアプローチに関する取組（海洋科 栽培工学コース）	
(6)	チョウザメの種苗生産とキャビアの活用（海洋科 栽培工学コース）	
(7)	海技免許講習の充実による後継者育成に関する取組（海洋科 海洋技術コース）	
6	評価	6
(1)	定性・定量目標と効果の測定	
(2)	ルーブリック評価基準表	
(3)	取組を通して身に付けさせる資質・能力	
II	研究内容	9
1	港湾内の航路を確保するための水中ロボット（ROV）開発	
2	臨時災害放送局開設に向けた取組	15
3	地元の食材を生かした備蓄可能な製品の開発	23
4	防災かまどベンチで調理可能な非常食レシピの開発	29
5	藻場への新たなアプローチに関する取組	35
6	チョウザメの種苗生産とキャビアの活用	42
7	海技免許講習の充実による後継者育成に関する取組	48
III	スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業における共通的な評価指標	53
IV	教育委員会による対応方針等	56
V	報道記事	57